

仮設備え付け器具の利用を

県の所管のため、県と協議



黒沢一成議員
(未来クラブ)



物置ひとつでも、再利用できれば被災者の再建支援になります

問 ほぼ完成し、個人住宅の外

建設がさらに進む。仮設備え付けのクーラー、物置などを新築住宅に利用したいという要望がある。仮設退去時に持ち出せないか。

の入居者が退去する際に、エアコン、照明器具、カーテン、暖房器具、物置の5種類の無償譲渡は可能とのこと。

町長 被災した集会所は12。再建済が2施設(田の浜、柳沢)。建設中が1施設(大沢川向)、再建の方向性が決まっているのが3施設(浜川目、大

沢下条、前須賀)。支援団体と交渉中が1施設(小谷島)。廃止検討が森ブロックセンター、細浦ブロックセンター、山田漁村センター。

北浜、飯岡防災センターは、用地選定および整備メニューの検討を進めている。

問 新たに入居する方もいないと思うので、今日明日退去する方にも無償譲渡すべきでは。

佐々木建築住宅課長 県の所管であることから協議してみる。

現時点では難しい

トレイルマラソンの開催を

◆ 東日本大震災の慰霊碑を
その他の質問

問 潮風トレイルも体験型観光の一つである。船越半島の遊歩道は距離と地理的要因、トイレ等の整備状況から、一般の方に利用してもらう状況ではない。

越半島ルートは、総延長40キロメートルあり、モデルコースの設定が必要だが、施設等の課題がある。

町長 潮風トレイルの船

トレイルマラソンは地域資源の新たな活用方法の一つと考えるが、安全面の確保、運営ノウハウや、人員配置などから現時点での実施は難しい。